高松キャンパス共通　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２６年度

科 目 名	文学特論Ｉ Literature　Ｉ			担当教員	長原　しのぶ		
学　年	４年	学　期	後期	履修条件	選択	単位数	2
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120037	単位区分	学修単位

学習目標	１．種種の文学作品を深く読むことで、読解力を養い、また作者の独特な感性やさまざまな物の見方を学ぶことで現在を生きる自分の生き方を見つめ直すことができる。 ２．作品の主題や論旨に対して自分の意見を口頭で発表したり、文章にまとめたりすることができる。 ３．日本語の表見演習を通して、勉学や社会生活に必要な、より正しい日本語で表現できる力を身につける。
進 め 方	講義形式を基本とするが、意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。小テストも随時実施する。また、表現演習については、文章能力の習得のための講義と演習とを平行して実施する。予習・復習に努め、必要に応じて辞書も活用してほしい。

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	※全体ガイダンス(1) １．現代文(13) (1)「徒然草」(小林秀雄) (2)「夢十夜-第一夜-」(夏目漱石) (3)「自分の死を見届けるために」(橋爪大三郎)	・近代の文学作品を読み、表現の意図を把握し、主題を導き出すことができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 ・評論文を読み、論旨を捉えることができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 学習・教育目標：(A)
	[後期中間試験](2)	
	※試験の解説(1) ２．表現(6) ア．敬語 イ．その他表現に関する演習 ３．評論 (7) (1)「おんなの鬼」(馬場あき子) 「羊どろぼうの話」(加藤周一)	・勉学や社会生活に必要な基本的な日本語文章能力と知識を身につけることができる。 学習・教育目標：(D) ・評論文を読み、論旨を捉えることができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 学習・教育目標：(A)
	後期末試験	
	試験返却(1)	

評価方法	１．評価の内訳：提出物を 30%、定期試験を 70%とする。 ２．評点：学習内容の 1、2～3 をそれぞれ 50%としてつける。 ３．授業に対する取り組みが悪い者については減点することがある。
履修要件	特になし
関連科目	国語Ｉ（1 年）→国語Ⅱ（2 年）→国語Ⅲ（3 年）→文学特論Ｉ（4 年）→古典文学（専攻科 2 年）
教　材	教科書：プリント 辞　書：国語辞典　古語辞典　漢和辞典
備　考	・本科目の単位は高等専門学校設置基準第 17 条 4 項により認定される。1 単位当たり 45 時間の学修により単位認定を行う。再試験、単位追認試験は適宜実施する。